

一月 三河の花祭調査
二月 長女恵子出生。

* 戦争激化のため調査旅行は止めるように洪澤からいわれ、

宮本馨太郎、吉田三郎と共に保谷の民族博物館所蔵の民具約八〇〇〇点(一万二〇〇〇点とも)の整理を行なう。

四月一日 日本常民文化研究所主任。

月俸一〇〇円、加俸五〇円、帝国学士院の委嘱に依る日本水産科学史編纂に従う。

一二月三十一日 奈良県立郡山中学校教授嘱託となる。

友人岸田定雄の世話。月手当六〇円、昭和一九年七月末には月手当一一〇円。

一月 大阪に帰り、郡山中学校の教授嘱託として歴史を教え、余暇に奈良県下を積極的に歩く。

* 大阪に帰って間もなく、田岡香逸の発起で歓迎会が西宮神社の社務所でひらかれる。

宮司の吉井良秀をはじめ西宮の文化人の他に、魚澄惣五郎、水野精一、小林行雄などと知り合い、彼らを通じて今西錦司、森鹿蔵、日比野丈夫、吉田光邦など京都大学人文科学研究所系の学者を知ることになる。

洪澤(48歳)
日本銀行総裁就任。

一月一八日〜二五日 名古屋
三月二六日 母と長女大島に帰る。

(母は鳳の家に引き取っていた?)

四月二日 郡山中学を退職。

四月三日 大阪府の嘱託となり、

生鮮野菜需給対策をたてるため、府下農村を歩く。

「篤農協会の米山九蔵の勧めを受けて、四月五日大阪府庁に行き知事に会い要請を受ける。この時篤農協会の渡辺敏夫に会う。」「月手当一五〇円

- 43 東京都制公布(人口約八〇〇万人)
- 43 イタリア無条件降伏
- 43 神宮外苑競技場で学徒出陣壮行大会

- 43 東京昭和通りの植樹地帯畑となる。神奈川県ゴルフ場を農園化
- 43 食糧難のため、生育の早い中国淡水魚、草魚、連魚を移植

- 43 育児休職制度
- 43 サツマイモ大増産
- 43 玄米配給制
- 43 純白糖製造禁止
- 43 ビール配給制に結核ピーク
- 43 (死者一七万人)
- 43 森の水車(歌)

- 44 学童集団疎開開始
- 44 学徒勤労令、女子挺身勤労令各公布
- 44 海上輸送崩壊、軍需生産まひ状態

- 44 食糧増産に学徒五〇〇万人動員
- 44 木炭新炭生産令公布
- 44 農商省、ガソリン代用品としての松根油増産を図る

- 44 一人一日一四〇〇キロカロリ
- 44 食肉商整理
- 44 ぞうすい食堂登場

- 45 東京大空襲
- 45 アメリカ軍、沖縄本島に上陸
- 45 ドイツ、無条件降伏
- 45 広島・長崎に原爆投下
- 45 日本、無条件降伏、ポツダム宣言受諾
- 45 アメリカ政府「対日方針」を発表
- 45 衆議院議院選挙法改正公布、婦人参政権など
- 45 労働組合法公布

- 45 GHQ、遠洋漁業に関する「マッカーサー・ライン」を設定
- 45 GHQ、「農地改革に関する覚書」(農地解放指令)
- 45 東京湾イワシ大漁、都民に配給

- 45 GHQ、生活改善課の設立を命ずる
- 45 電気コソロ
- 45 配給二合一勺
- 45 病院給食始まる
- 45 ギョミーチョ、クッキー
- * 電極式パン焼き器
- * ヤミ市の食堂、買出しの時代
- * ベニヤ板ブーム、チャブ台から生活再建